

# 看護管理学特論

[講義] 1年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○福井 純子 [sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp]

## 【概要】

変化し続ける社会・医療情勢の中で看護の場が広がり看護者の責任も増し、保健・医療・福祉における看護管理の役割は多様となり、拡大し続けている。現状と未来を視野に入れながら、質の高い看護サービスを提供するために看護管理の諸理論を系統的に学び、看護管理についての理解を深める必要がある。これらの学びを基盤に組織、更に組織内に留まらず地域、そして社会から求められる看護管理者の役割を遂行できる能力の向上を目指す。

## 【学修目標】

1. 看護管理の諸理論を学び、現状を見据えた上で質の良い看護サービスを提供するために求められる看護管理について説明できる。
2. 保健医療サービスの質保証のために組織のあり方や他者との協働、また倫理的実践等について学び、看護管理者の責務を理解する。
3. 保健医療制度の変遷と動向を学び、変化に柔軟に対応できるこれからの看護と看護管理者としての役割を探究する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	保健医療制度と看護管理	保健医療制度の変遷としくみについて理解し、近年の動向を踏まえた看護管理への影響と課題について検討する。	福井
3 ) 4	組織作りと看護管理	組織が存在する意味を理解し、最適な医療・看護サービスを提供するための組織作りや変革の戦略について検討する。	福井
5 ) 6	サービスマネジメントと質保証	医療・看護をサービスの観点から捉え、医療・看護サービスの質保証のための活動や方法について理解し、課題について検討する。	福井
7 ) 8	人材育成と看護管理	人的資源の概念を理解し、キャリア開発支援を踏まえた組織における人材（財）育成における看護管理の役割と課題について検討する。	福井
9 ) 10	臨床倫理と看護管理	臨床実践の場面における倫理的課題を理解し、看護管理者として担う役割や組織的な取り組みについて検討する。	石垣靖子（特別講師） 福井
11 ) 12	チーム医療の推進と看護管理 病院経営と看護管理	チーム医療のあり方を理解し、その活動が推進されるような効果的な看護と看護管理者の役割と今後の課題について検討する。 医療における経営の意味を理解し、看護管理者の参画の必要性和望ましい経営に向けての課題について検討する。	福井
13 ) 14	リーダーシップと看護管理	リーダーシップとマネジメントの本質について理解し、成果につながる2つの力の発揮の仕方について検討する。専門職としての看護職のあり方とチーム医療、更に組織内に留まらず地域において発揮する看護職のリーダーシップについて探究する。	福井
15	これからの看護管理	既習した看護管理の知識を元に「これからの看護管理」について自己の考えと課題をまとめる。	福井

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

## 【アクティブ・ラーニング】

導入している

**【評価方法】**

授業への参加状況と理解度（60%）、授業におけるプレゼンテーション（40%）について総合的に評価する。

**【教科書】**

井部俊子,他監修．看護管理学習テキスト．第1～5巻,別巻．日本看護協会出版会．

**【参考書】**

井部俊子（2018）．看護師のための文章ノート．日本看護協会出版会．

Paul Hersey, Dewey E. Johnson, Kenneth H. Blanchard（2000）．入門から応用へ 行動科学の展開【新版】 人的資源の活用,生産性出版．

Stephen P. Robbins（2005）/高木晴夫（2009）．組織行動のマネジメント．ダイヤモンド社．

近藤孝雄（2007）．サービスマネジメント入門 第3版．生産性出版．

石垣靖子,清水哲郎（2012）．臨床倫理ベーシックレッスン．日本看護協会出版会．

その他、授業内で随時提示する

**【学修の準備】**

- ・教科書の該当箇所を通読して講義に臨むこと。
- ・医療・保健・福祉を取り巻く社会状況についての新しいニュースに注目しておく。特に社会保障制度や看護管理に関連した情報を収集しておくこと。
- ・公開されている自施設や自部署に関する医療・看護・連携などのデータに着目して現状の理解に繋げること。
- ・提示するプレゼンテーション課題について、自施設と自部署の状況を客観的に分析し、看護管理上の課題について明らかにし、議論を深めたい項目を整理して提示すること。
- ・基本的なプレゼンテーションの資料提示やレポートの書き方などを自己学習しておくこと。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。